

rivière vol.42

Mukogawa Women's University, Mukogawa Women's University Junior College Division

リビエール
武庫川女子大学通信

80th
創立80周年
武庫川学院



2019
WINTER



ママ経営者



第27代日本さくらの女王



音楽プロデューサー



巻頭特集

武庫女から 自分の道へ



This is ME! 夢のムコーガワ
文学部健康・スポーツ科学科卒業
小島 有子さん



絵本作家
イラストレーター



ダンススクール主宰



ファッション
ジャーナリスト

3

巻頭特集

武庫女から 自分の道へ

- ・音楽プロデューサー、ママ経営者、ダンススクール主宰、ファッションジャーナリスト、第27代日本さくらの女王、絵本作家 イラストレーター
- ・夢をつかんだOGの共通点

12

OGに聞く This is ME! 夢のムコーガワ
警察官 小島 有子 さん

14

武庫川TOPICS

キャンパスの情報を紹介します!!

18

武庫川就職掲示板

気になる就職活動の“今”を
お伝えするコーナー

20

食堂・カフェ リニューアル

- ・公江記念講堂地階食堂 アゼリア
- ・クリステリア 1・2階
日下記念マルチメディア館3階MMカフェ

21

学生・生徒の活躍

華々しい受賞結果をご報告

22

HONTANA

リビエールブックセレクション

23

学生広報スタッフ ラ シュエット La chouette*
おすすめ映画

「22年目の告白 ー私が殺人犯ですー」

Book Center

CULTURE RANKING
売れ筋ランキング



今号の表紙

武庫女で学び、武庫女から巣立った卒業生たち。たくさんの卒業生が活躍されていますが、巻頭特集では6人の方をご紹介します。「武庫女から自分の道へ」進まれた6人の卒業生に表紙を飾っていただきました。

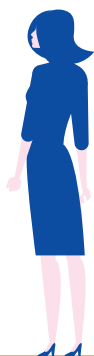
Editor's note



学内外での武庫女の印象として、「おとなしい」という声をよく耳にします。ただ、今回の卒業生の方々のインタビューを通して、そのイメージは一新されました。

それは、積極的に人よりも前に出て上り詰めていくというよりは、内に秘めた確かな強さ。その“強さ”が、巻頭特集で取り上げた、「チャレンジする姿勢」や「信念を持ってやり抜く強さ」といった夢を実現する大きな力につながっているように感じました。

今現在、武庫女で学んでいる皆さんにも、その力を育てていただけたらと思います。



巻頭特集

武庫女から 自分の道へ



武庫川学院は2019年2月、創立80周年を迎えました。現在、武庫女では1万人以上の在籍者が学び、日本の女子大学の中では最も多い学生数です。

そして、これまでに約19万人の卒業生を輩出し、現在も数多くの卒業生が社会の第一線で活躍しています。ご紹介できる方に限りはありますが、今号ではそんな様々な分野で活躍中のOGの方にインタビューしました。

どの方も自ら進むべき道を切り開き、夢や目標に向かってチャレンジし続けてきた方ばかり。そんな卒業生6人の挑戦の軌跡と「今」のお話をお届けします！



J.Tメソッド田中準子音楽学院 学院長
株式会社ラジュネス企画 代表取締役
田中準子さん
Tanaka Junko



お二人の指導は、指導者・教育者としての私の素地にもなっています。

音楽遊びを通して、子どもが達成する喜びを実感できるJ・Tメソッド

現在は自ら研究・確立した指導法J・T (Joyful Training) メソッドの普及のために、各地の幼稚園・保育園で講演や指導研修を行っています。J・Tメソッドとは、「楽しさこそやる気の原動力!」という考えに基づき、遊びの楽しさから達成する喜びへ無理なく導けるよう、それぞれの目標やレベルに合わせて音楽遊びを進めていく指導法です。音楽指導のメソッドとしてスタートしましたが、今では音楽を媒体とした人格形成の教育法として実践されています。成長する園児たちの姿を見た時はもちろん、研修を通して先生方が変わり、より生き生きと指導している様子を目の当たりにした時は本当にうれいすね。現場から届く声に大きな手応えを感じ、「より多くの人に広めたい」との思いから海外への事業展開も視野に入れています。

音楽プロデューサーの分野では、宝塚歌劇団OG 鳴海じゅんを所属タレントとして舞台制作などを行っています。当初は、芸能と教育の事業は分けていましたが、その二つがいに感じに融合しつつあり、例えば鳴海さんに教育ナビゲーターとして幼稚園での研修や記念式典に参加してもらったことも。また、彼女のショーで私の考えている思いを表現してもらったこともあり、今後はより意識的に芸能と教育の事業をつなぎ、それぞれを今以上に充実させたものにしていければと考えています。夢は大きく、海外進出とノーベル平和賞(笑)。

音楽プロデューサー、教育者として活躍。考案したメソッドで平和に貢献したい。

演奏者、作曲家、大学講師、音楽プロデューサーなど幅広く活躍

大学卒業後、演奏家としてテレビ・ラジオ番組にレギュラー出演。その活動と並行して、公江記念講堂の式典奏者として、大学の入学式や卒業式などでのオルガン演奏を担当してきました。結婚・出産を機にプレーヤーを引

退し、ご縁があつて武庫

川女子大学音楽学部の講師に。また同じ頃、絵本を刊行する出版社から童謡の作曲を依頼され、以降200曲あまりを作曲してきました。作曲の仕事を契機に、1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」ではパピリオ



ンのプロデューサーを担当し、そこからは音楽プロデューサーの仕事も手掛けています。

私自身は幼稚園から音楽を習いはじめ、13歳の時には近所の子どもたちに懇願されピアノを教えるようになっていました。それが今の田中準子音楽学院につながって、現在は教える子どもたちが主に指導に当たっています。振り返ると人との出会いが大きな財産となっており、武庫女でも森清先生、河上敬三先生という二人の恩師との出会いが今の私を作ってくれました。仕事のきっかけを与えてくださったほか、すべてを肯定的に受け入れてくださった

① 田中準子音楽学院には宝塚音楽学校を目指す生徒も通う。宝塚歌劇団OGの鳴海じゅんさんも歌唱指導を行い、時には田中さんが伴奏を手掛けることも。
② 幼稚園での研修。鳴海さんの歌と田中さんの伴奏に子どもたちも大喜び。
③ J・Tメソッドの教材となる『ジョイジック』。「見る! 聞く! 集中!」を軸とした指導教育論で、子どもに見て、聞いて、理解して、行動することを習慣化させます。

ママ経営者

株式会社Heulie(ユーリエ)

代表取締役

平島利恵さん

Hirashima Rie



1

英語文化学科2004年3月卒業。(株)リクルート、(株)マクロミルを経て、2016年(株)ユーリエを設立。オリジナルの布おむつや、もみ洗いのいらない洗剤「Rinenna(リネンナ)」などの販売を手掛ける。

女性ならではの視点で開発した「あったらいいな」をカタチにした商品を通して、暮らしを豊かにする。

**主婦の視点から生まれた
布おむつと、つけ置きメインの洗剤**

2012年に、オリジナルの布おむつをネット販売するお店を立ち上げました。きっかけは2011年の東日本大震災。当時は川崎市に住んでおり、直後に関東では日用品などが品薄になりました。長男が生後2か月の頃で、必需品だった紙おむつも品切れ。仕方なく売れ残っていた布おむつを買いましたが、使ってみると予想外に使い勝手がいいことに気がきました。市場は紙おむつが主流ですが、「布の利便性」を浸透させたいと、翌年に布おむつ専門店「エストランセ」を立ち上げ、ネットで販売を始め、2016年に法人化しました。

商品の評判は上々でしたが、ある時ユーザーの方から「うんち汚れは、もみ洗いと取れないので大変」という声が届きました。そこで次に取り組んだのが、もみ洗いがいらない、つけ置きメインの洗濯用材の開発。原材料屋に問い合わせ、協力を得られた会社と試行錯誤し、誕生したのが「Rinenna(リネンナ)」です。布おむつ用が開発しましたが、汗ジミや血液、襟の黒ずみなど、人間の体から発するたんぱく質の汚れはすべて落ちる洗剤として、様々な用途でご利用いただいています。

**少しの勇気を持って、
最初の一步を踏み出す大切さ**

第一弾となる「Rinenna」は、汚れとともに匂いも完全に取り除く洗剤としてリリース。こちらも、「夫の加齢臭が気になる」というユー

ザーの方の声を元に開発した商品で、今後も「日常の中にある人の不快な作業(モノ)を快適にする」をコンセプトに、人の暮らしを豊かにできる商品を手掛けていければと考えています。

また、2019年から日本各地で洗濯教室も開講する予定です。リネンナを使えば「大切な着物を汚れが落ちないから捨てる」といったこともなくなるほか、もみ洗いの開放による洗濯の時間にもつながります。これらのことから、洗濯一つで人生が変わることを実感し、そういったお話を「正しい洗濯の仕方」とともに伝えていければと思います。

私が手掛けている商品は、普通の生活の中で「こういうものがあればいいな」という視点から生まれています。ですから、「一般的な女性の普通の考えにも大きな可能性があり、決して「私なんか」と尻込みせず、挑戦したいことがあれば少しの勇気を持って、皆さんも歩を踏み出してみてください。特に学生時代は失敗しても大丈夫ですし、その小さな歩の積み重ねが、5年後、10年後に大きく成長した自分につながるはずです。



2



クーポンコード
mukojo2019

Rinennaの公式ページで使えるクーポンです。
5000円以上のショッピングで1000円OFF!

1 ECサイト専門店の運営、マネジメントの経験を生かしたコンサルティングサービスも展開する平島さん。
2 もみ洗いを省き、繊維にダメージを与えず、洗い上がりは買いたてのようにする。そんな相反する要望を実現した「Rinenna」。

ダンススクール主宰

西宮市のキッズジャズダンススクール
KDTダンスファクトリー 代表

北内貴子さん
Kitauchi Takako



英語文化学科2012年3月卒業。ダイキン工業株式会社を経て、2019年1月に3歳からのキッズ向けのジャズダンススクール「KDTダンスファクトリー」を西宮市にオープン。レッスンから運営までを手掛ける。

念願だったダンススクールを開校。レッスンを通して、子どもたちの「好き」を見つけ、「夢」を育む。

海外留学時に明確になった「ダンスを仕事にする」という夢

夢に挑戦する子どもたちを育て、「ダンスで日本を元気に」する！

「『好き』を見つける、『夢』を育む」というのが、「KDTダンスファクトリー」のコンセプトです。ダンスの楽しさを伝えるのはもちろん、レッスンを通して礼儀や、自ら積極的に取り組む主体性、コミュニケーション能力などを育み、リーダーシップを発揮できる子どもの育成を目指します。

私自身、4歳の時にジャズダンスを始め、以降ダンスに関わり続けてきました。高校時代には、ダンス部が無かったので私が発起人となってクラブを作り、仲間を巻き込みながら舞台の演出などを担当しました。その際に、作品をプロデュースし、みんなで一つの舞台を作ることに楽しさや喜びを実感。その体験が、ダンスを仕事にしたいと思ったきっかけでした。

学生時代で最も印象に残っているのは、アメリカ分校留学のエクステンション・プログラムでの出来事です。滞在期間中、学科を超えた学生の交流の場を作ろうと、50人を超える大規模なダンスチームを結成。ダンス披露の場として、大学関係者やホストファミリーも巻き込むクリスマスパーティーの開催を大学に依頼し、すべて私が企画運営をしました。パーティーに参加した学生やゲストの笑顔を見た時、「ダンスで世の中を幸せにしたい！」と本気で思い、おぼろげだった夢が明確になりました。この留学中の出来事をはじめ、いつでもやりたいことを後押ししてくれた大学には本当に感謝しています。そこで培われた経験は今の私に着実につながっています。

大学卒業後はダイキン工業に就職。社会人としての基礎的なスキルをはじめ、営業職として全国を飛び回る中で、お客さまや先輩からたくさんのごことを学び刺激的な日々でした。

6年半の会社員生活に終止符を打ち、ゼロからスタートした「ダンスの仕事」。退職からスクールオープンまではわずか半年間。最初のレッスンの場に立った時は感慨深かったです。ただ、今はまだスタートラインに立ったところ。「先生に出会えてよかった！」と言ってももらえる目を目指して、精いっぱい努力し、進化し続けていくことが私の使命だと思っています。ダンスを通して子どもたちが好きなものを見つけ、夢に向かって挑戦する勇気を育み、自身の歩みたい道へと羽ばたいていく。そういった子どもたちを一人でも多く育てることで、「ダンスで日本を元気に」という目標を実現していければと思います。



KDTダンスファクトリーの子どもたちの笑顔をもとにしたロゴマーク。「ダンスを思い切り楽しみながら、すてきな夢や希望を持ち、力強く未来へ羽ばたいてほしい」という願いが込められている。

レッスン
バンピクラス (毎週土曜) 9:30~10:10
キッズクラス (毎週土曜) 10:15~11:15
見学・体験レッスン随時、受付中

KDTダンスファクトリー

- 1 「KDT」とは、「キッズドリームテイナー」の略称。ドリームテイナーとは、「夢を追いかけ、周囲に夢と希望を与え続ける人」のことで、子どもたち一人ひとりと向き合う中で、その素地を育てていく。
- 2 スクール名を「ダンスファクトリー」としたのは、常に新しいことや面白いことを発信する「工房」のような場所にしたいと思ったから。また、「自分が育った街に恩返しをしたい」との思いから、大学時代の4年間を過ごした西宮市にスクールをオープンさせた。

ファッション・ジャーナリスト

その国の文化や歴史、政治と密接につながった
ファッションの魅力伝える。

ジャーナリストの道に進むきっかけは
ニューヨークでの偶然の出会い!?

大学卒業後、ニューヨークに渡りました。文章
を書く仕事をやりたいという思いはあ
りましたが、特に当てはなく、語学留学生とし
て現地へ。ニューヨークに着いて間もない頃、偶然
知り合った映像作家の方に紹介されたフォトゲ

ラファールの方に「ライターになりたい」と相談し
たことが、キャリアをスタートさせるきっかけと
なりました。

日本のファッション雑誌の編集部を紹介され、
当初は編集者の方がニューヨーク取材に連れられ
る際に、現地でのスケジュール管理などを担当
するコーディネーターの仕事を担当しました。
人脈を築いていく中で、少しずつライターとし

てのお仕事もただできるようになり、雑誌・
WEBマガジンに寄稿。ファッションジャーナリス
トとして、徐々に活動の場を広げていきました。

2016年1月からパリに拠点を移し、現
在はヨーロッパ各都市のコレクション取材やデザ
イナーのインタビューなどを手掛けています。フ
ァッションは各国の文化や歴史、政治などとのつ
ながりが強く、行く先々の土地でそのことを肌
で感じられるのも今の仕事の魅力の一つ。もち
ろん、デザイナーをはじめ第二線で活躍する様々
な人に会えるのが単純に楽しく、自分の人生の
財産にもなっています。



1

自分の中の世界が広がった
中学・大学時代の留学体験

私は中高も武庫女で、中学3年生の夏休
みに留学プログラムを利用して、アメリカに1か
月ほど滞在しました。現地の生徒と一緒に授業
を受け、遊び、その中でアメリカ人の女の子二人
とすごく仲良くなりました。見た目も、文化的
なバックグラウンドもまったく違うけど、何気な
いことで心から笑い合え、英語でコミュニケーション
を取れることがとにかく楽しかったんです。
その時に自分の中の世界が大きく広がり、「将
来の選択肢はいくつもあるんだ」と感じまし
た。もともと英語を学びたいという気持ちも強く
なり、大学は英語文化学科を選択。学科プログ
ラムでの留学では、中学時代よりも深く語学や
文化を学び、英語が上達していく自分が楽し
く、「海外に出たい」という気持ちもより一層大
きくなりました。

その意味では、中学時代の留学は私の原点で
あり、大学在学中に就職活動をせず、卒業後
に海外に渡るのは私の中で必然でした。今後も
取材対象者や仕事を依頼して下さる編集者
の方に「良かった」と感じてもらえる仕事を手
掛け、その中でジャーナリストとして成長してい
ければと思います。

2



英語文化学科2012年3月卒業。ニューヨークでフリーランスのファッションジャーナリスト・
コーディネーターとしてのキャリアをスタートさせ、現在はパリを拠点に活躍。ヨーロッパ各都市の
コレクション取材やデザイナーのインタビューなどを手掛ける。

井上恵里さん
Inoue Elie

1 連載寄稿: [ELLE]、[GISELÉ]、[WWD Japan]、[Fashion Headline]

不定期寄稿: [VOGUE]、[VOGUE girl]、[Oceans]、[2nd]、[Glam]、[Quotation]など。

2 一時帰国時に就職セミナーに登壇し、「情熱を傾けられること、人に求められ、自分に向いていることが仕事には大切」と後輩たちにメッセージを送る井上さん。

第27代日本さくらの女王



辰己由貴さん
Tatsumi Yuki

英語文化学科2015年3月卒業。大阪大学医学部スポーツ医学教室の秘書を経て、現在は関西プレスクラブ事務局に勤務。2018年2月に第27代日本さくらの女王となり、活動をスタート。任期は2020年2月まで。

中・高・大での深い学びが今の自分につながっている

日本さくらの女王は華やかに見えて実は、着物を何枚も入れた重いスーツケースを引いて海外に行ったり、朝から夜まで着物でいくつもの表敬訪問をこなしたりと、知性に加え体力と精神的なしなやかさが求められます。今振り返れば、さくらの女王に必要な基礎力は、中・高・大と武庫女で学ぶ中で自然と磨かれていたのかもしれませんが。中・高時代は硬式テニス部で毎日一心に体を鍛えました。またキャプテンを務めた経験は人前で話したり、人をまとめたりする楽しさを教えてくれました。忘れられない6年間です。大学時代は河内鏡太郎教授に導かれ、本の面白さに開眼。特に影響を受けたのは、司馬遼太郎の『坂の上の雲』です。読後、私も何かに前向きに頑張っていこうと思わせてくれた大事な作品。今も人生のバイブルです。

今年11月10日に開催される武庫川学院創立80周年記念式典で司会を務めるという大役を仰せ付けられました。さくらの女王として培った経験が生かせるのではないかと思います。お引き受けしました。大河原学院長と瀬川学長に表敬訪問した際は、「頑張って」と背中を押していただき、日ごろから学校全体で応援してくださっていることに心から感謝しています。私の活動が在校生の皆さんにとって刺激になればうれしいですね。

3

日本代表としての誇りを胸に、世界へ。
桜のすばらしさと日本文化の奥ゆかしさを伝える。
女王らしく堂々と
どんな場面も楽しむことを忘れずに

私は現在、第27代日本さくらの女王として活動しています。日本さくらの女王は、日本の桜を象徴する親善大使。桜の愛護や育成、保全推進のシンボルとして、国内外で開催されるさくら祭りや植樹式にボランティアで出席し、

友好と国際親善に努めています。応募のきっかけは、幼稚園の頃の先輩が第25代として活躍されている姿に感銘を受けたからです。私も挑戦してみたいと思い、書類を提出しました。日常ではなかなかできない貴重な経験が、やりがいにつながっています。特に印象に残っているのは上海のある施設にお招きいただいたときのこと。現地の人の温かなおもてなし

に胸が熱くなって。国レベルでは複雑な日中関係も、国民同士ではわだかまりがないことを肌で感じられたことは非常に勉強になりました。日本を代表するトップリーダーの方々ともお話しをする機会が増え、刺激を受ける反面、言葉遣いや話題作りの難しさに戸惑う場面もあります。持ち前のバイタリティーでカバーしながら、新聞を読んだり美しい所作を身に付けたりと切磋琢磨する日々。任期中はできるだけたくさんの経験を重ね、成長したいと思っています。



- 1 全米さくらの女王が来日したときはアテンドを務めた辰己さん。親睦を深めた。
- 2 日本さくらの女王として紹介される。
- 3 憲政記念館にて桜祭り中央大会植樹式

絵本作家 イラストレーター

ありま 三なこ さん
Arima Minako



生活環境学科2009年3月卒業。社会人になってから本格的に絵本について学び、2016年に絵本のコンペで大賞を受賞。
2018年1月から拠点を東京に移し、絵本作家、イラストレーターとして作品を発表するほか、イベント・個展などの活動にも精力的に取り組む。

自分の夢をかなえていく中で、
故郷に恩返しをしていきたい。

コンペ初投稿作品で大賞を受賞し、
絵本作家としてデビュー！

子どもの頃から絵を描くのが好きで、大学の卒業制作で「しかけ絵本に取り組んだことが、絵本に興味を持つきっかけとなりました。大学卒業後、一般企業に就職しましたが、「絵本について学びたい」という思いが強くなり、退社して絵本の学校へ。大阪にあるテーマパークのフェイスペインターなどの仕事をしながら、本格的に絵本についての勉強に取り組みました。そして、初めてコンペに投稿した『ウォールズ』で2016年「be絵本大賞」を受賞。絵本作家としてデビューを果たしました。

以降は絵本作家、イラストレーターとして作品を発表するほか、個展やアートイベントなどで、ライブペイントなど、幅広く活動しています。イベントでお客さまと会えるのも楽しみの一つで、来場者の方から頂いた励ましのメッセージや手紙が次の作品の原動力にも。作品を生み出すのは毎回大変ですが、壁にぶつかった時に思い浮かべるのは、両親と応援してくださっている方々のことで、そうすると「自分だけの夢じゃない」と力をもらえるんですよ。制作の過程では苦労も少なくありませんが、それだけに完成した時の達成感は格別です。

作品の大きな原動力となる
故郷・宇和島の存在

2018年1月に、西宮から東京に拠点を移しました。その決断を後押ししてくれたのが、故郷の愛媛県宇和島市の人たちです。上京

する前年の秋に宇和島で個展を開いた時に、予想していた以上に多くの人が足を運んでくださり、たくさんのお言葉をお聞きしました。そこで感じたのが、「私が今以上に活躍できたら、地元の子どもたちはもつと夢を持てるようになり、故郷にも恩返しできるんじゃないか」ということ。また、知らない土地で、新たな人に出会う中で、作品にも変化が生まれるのではという期待もありました。

実際に企業案件のお仕事が増えるなど、仕事の幅は大きく広がりました。最近では、NHK・Eテレ『えいごであそぼ with Orion』の「今月の歌」(2019年2月)にも採用され、念願だったアニメの仕事も担当。今後も様々な仕事にチャレンジし、私が活躍することで大好きな宇和島もPRしていければと思っています。

作品のアイデアは、生活の中でふと浮かび上がってきますが、その源泉となるのは日々の様々な体験です。人との出会いや自分が行動し、取り組んできたことなどが大きな財産となっています。皆さんも興味を持ったものには、何にでも積極的に挑戦してください。そこで得られた経験はきっと無駄にはならないはずです。



第8回「be絵本大賞」を受賞した『ウォールズ』。受賞の知らせをもらったときは号泣したそうで、今も制作で行き詰まった時は、受賞決定のシーンを思い出し、自分を奮い立たせることがあるという。

- 1 絵本はもちろん、一枚の絵でも必ずストーリーを込める。「私なりの解釈はありますが、答えは一つではありません。見ている人なりの解釈をしていただければ幸いです」。
- 2 2019年1月、宇和島で開かれた「おかえりコンサート2」でのライブペイントの様子。
「地元に戻ると、毎回たくさんの方の元気をもらっています。作品の制作を通じて、恩返ししていきたいです！」

前号の武庫川学院創立80周年記念特集を踏まえ、今号では現在様々な分野で活躍し、挑戦し続ける卒業生6人のインタビューをお送りしました。共通して見えてきたのは、揺るがない信念や挑戦し続ける姿勢。それが夢や目標に向かい、進むべき道を切り開く、大きな原動力になっているのを強く感じました。

夢

日本を代表する親善大使として、桜の魅力と日本文化の奥ゆかしさを世界に伝える。

変わらない信念

実験を繰り返し、まったく新しい発想から開発した洗剤で、利用者さんの人生を変える。

挑戦

音楽の楽しさを伝えるとともに、子どもたちの未来の幸せのために音楽を媒体とした人格形成の教育法「J・Tメソッド」を世界に広める！

諦めない

歴史・文化・政治など、様々な角度からファッションを掘り下げること、より多くの人にその魅力を伝えたい。

原動力

ダンスで子どもたちの夢を育む活動を通して、地元で恩返しをしていくのが目標。

進むべき道

自分の絵に、「人生で大切にしてきたこと」「忘れてはいけないこと」をメッセージとして込める。

チャレンジする姿勢

すべての人に共通していたのが、目標に向かって挑戦し続ける姿勢。失敗を恐れず、夢に向かって前進する行動力が周りの人を巻き込み、ご自身の成長にもつながっているようでした。

信念を持ってやり抜く強さ

「私はこれを実現する！」と決めたら、それをやり抜く信念の強さも皆さん共通しており、その芯の強さが目標や夢の実現の原動力に。

夢をつかんだOGの共通点!!



人との出会いを大切にする姿勢

恩師やパートナーなど、多くの人の支えがあつて、今の自分がある。そんな環境を作り出すためには、「まずは自らが積極的に行動する」ことの大切さを、皆さんのお話を通して再認識しました。

在学中の出来事

学科での専門的な学びはもちろん、お話を伺う中で、在学中に体験した多くのことが今につながっていることがわかりました。例えば、ある卒業生の方は中学・高校時代の清掃によって主体性などが磨かれたと語り、また別のある方は留学体験がその後の人生のターニングポイントになったというお話も。直接・間接を問わず、武庫女で過ごした時間は着実にその後の人生に生かされているようです。

OGに聞く
This is ME!
 夢のムコーガワ



警察官

小島 有子さん
 Kojima Yuko

2010年3月、文学部健康・スポーツ科学科卒業。
 滋賀県出身。出身高校：私立 京都光華高校

決して諦めることはなかった「青い制服」への憧れ

「警察官になる」という小さい頃からの夢をかなえ、現在、秋田県仙北市の交番に勤務する小島有子さん。ここに至るまでの道のりは平坦ではなく、何度も挫折を味わったといいます。それでも夢を諦めず、実現した原動力などについて伺いました。

剣道とスキーに打ち込んだ
 小学校から高校時代

小学校1年生から、剣道を習い始めた小島さん。道場や大会で見る警察官の姿に「カッコいいな」と思ったことが、「青い制服」に憧れを抱いたきっかけだった。剣道は中学校3年まで続け、9年間で段位は2段まで昇段した。その剣道とともに、幼少時から取り組んだのがスキーだ。「両親共にス

キーが好きで、物心が付いたときからスキーを楽しんでいました。」
 中学校時代は剣道部に所属しながら個人で競技スキーの大会にも出場。アルペンスキーで、3年連続で全国大会出場を果たした。「高校進学時に、剣道とスキーのどちらを取るかを考え、後者を選択。スキー部のある、母の母校でもあった京都の私学に進学しました。高校時代も3年間インターハイに出場し、監督の薦めもあり大学は強豪

大学卒業後は、
 学生寮のチューターに

大学4年の競技スキー部の秋合宿で、左ひざの前十字靭帯断裂の大けがをする。「春の警察官採用試験に落ち、けがで秋は受験

することもできませんでした」。当時は就職のことより、最後の大会を前に何をしていくんだ、という後悔の方が大きかったという。「リハビリをしながら働ける環境」という競技スキー部監督の配慮もあり、卒業後は大学の堅忍寮のチューターとして就職。寮母さんのサポート役として、学生たちとの架け橋的な役割を担った。

並行して採用試験の勉強も続ける。兵庫県警察をはじめ、各県の警察や警視庁を受験するも一次試験を突破できずに卒業から3年が経ち、ようやく進んだ初めての最終面接では「おとなしそうだね」と言われ不合格に。同じ時期に受けた自衛隊に合格し、迷った末、入隊を決める。「2年任期だったので、警察官になるステップとして、自分を鍛えるためにもいいのではないかと考え、自衛隊に進みました。」

自衛隊での厳しい訓練の中、
 試験勉強にも取り組む

配属された衛生課では、主に隊員のけがの応急処置などを担当した。30km以上を歩く訓練に同行した際は、隊員たちに異常がないかを確認し、給水のアドバイスなども行う。年下から年上まで、様々な年代の隊員と対話する中で、自然と相手に「どう言えば伝わるか」を考えるようになり、自信を持って自分の意見を伝えられるようになった。「日々の訓練で、体力も向上しました。また、警察官採用試験に向け、一番勉強したのもこの頃です。」

午後5時に訓練を終え、掃除、入浴などを済ませた午後8時から消灯の午後11時までが自由時間。その短い時間に集中し、毎



警察学校で中学校以来となる剣道を再開。現在は3段の腕前。将来、道場で子どもたちを指導するのも目標の一つ。



武庫女時代、自衛隊時代を通じて、「今自分が何をしたいかを考え、行動する力が育まれた」という小島さん。警察官になるまで時間はかかったが、決して回り道ではなかったようだ。

第2のふるさととなった
 秋田の安心・安全を守る

日勉強に取り組んだ。そして自衛隊2年目の年に秋田県警察に合格。「ずっと諦めずに追いかけてきた夢だったし、母親をはじめ応援してくれていた周りの人の存在もあったので、合格した時は本当にうれしかったです」と笑顔を見せる。

秋田市内の交番勤務を経て、2018年4月から秋田県仙北市の交番に異動となった。それまで関西でしか暮らしたことがなく、最初の頃は秋田弁にも戸惑った。土地勘がないので、休みの日には自転車ですら巡るなど、今も勉強の毎日だ。地域の方々は、日々の交番勤務で触れ合うほか、「巡回連絡」で受け持ちのお宅を一軒ずつ訪問していく。「世間話になったときに、関西から来ましたという」と、「よく来た、よく来た」「おちゃっこ(お茶 飲んで) などと、皆さん気軽に声を掛けくださるのもうれしいですね」と小島さん。温かい人々と豊かな自然の中、ゆっくりと時間が流れる秋田での生活が、今ではすっかりお気に入りだという。そんな秋田の人々の安心・安全を守るのが小島さんの使命であり、本人も常にそのことを意識している。

最後に、警察官を目指す後輩たちへのメッセージを伺った。
 「少しでも見識を広めるために、いろいろな地域の警察を受けるのもお勧めです。私のいる秋田県警察もぜひ(笑)。秋田は7月受験で、関西の各警察とは時期がずれているので、受験しやすいのもポイントです。夢を諦めずに頑張ってください。」

中高時代



中3剣道部
 女子主将を務める



高校1年インターハイ スラローム出場

小学校からスキーと剣道に取り組む。中学時代は剣道部に所属し、個人でスキーの大会にも出場。高校からは競技スキーだけに取り組み、インターハイの出場も果たす。

大学時代



大学4年 競技スキー部集合写真



大学4年の夏合宿
 同期と琵琶湖を一周する

競技スキー部での活動に打ち込んだ4年間。3年生からはメンタルチーフとして、毎日の練習で各部員のメンタルケアを担当。国体やインカレへの出場も果たす。

堅忍寮チューター時代

大学4年次に靭帯断裂の大けが。リハビリしながら働ける環境として、堅忍寮のチューターに就き、警察官採用試験の勉強を続けながら、寮生たちの生活をサポートした。
 ある時、寮生が「痴漢被害に遭った」と泣きながら帰ってきたことがあった。「自分より弱い人を狙う犯人は許せない」と、警察官を目指す思いがより強くなった。

Turning Point

2年任期で
 自衛隊へ!

自分を鍛え直すことを目的に自衛隊に入隊。体力面を強化できたのをはじめ、自分の考えを伝える力や、1分1秒をおろそかにしない時間厳守の規律の中で「時間の大切さ」などを学ぶ。



現在



2016年9月から秋田県警察の警察官に。現在は秋田県仙北市の交番に勤務する。町の人に頼られ、役立てるのが何よりのやりがいになっている。

これから

警察官になるという大きな夢をかなえ、今は次の目標を探しているところ。生活安全課や交通課など、人と身近に接触し、任務を通じて進むべき道を探っていくと思えます。

第29回「甲子園会館の音楽會」 ～武庫川コンチェルト～



第29回「甲子園会館の音楽會」～武庫川コンチェルト～

昨年11月18日にオーディションで選抜された学生たちが兵庫県立芸術文化センター管弦楽団と共演し、コンサートアリア・オペラアリア・協奏曲等々を演奏しました。当日は多くの聴衆が来られ、学生たちの熱演に対し惜しめない拍手が送られていました。 教授 中村 伸吾 (大学 音楽学部)

ナリス化粧品と化粧品開発に 関する提携に合意しました



健康生命薬科学科では、武庫女オリジナル化粧品の開発を目指して様々な企画を進めています。2018年度には、まずナリス化粧品(株)と化粧品開発について包括的な合意に至りました(写真)。現在、「理系学生、実験・研究・スポーツなど、お肌に過酷な環境下で活動している女子学生に求められる化粧品は何だろう?」と言うユニカルクエスチョンに答えるため、マーケティングから、企画、製品開発までナリス化粧品の谷美容部長とゼミ生と一緒に切磋琢磨しています。 教授 森山 賢治 (大学 健康生命薬科学科)

国際セミナーと臨床教育シンポジウムを開催



国際セミナー



臨床教育シンポジウム

ベルギーの家庭支援センターよりソーシャルワーカーのHeleen Goetghebuer氏をお招きして国際セミナーを行いました。テーマは「海外の子育て支援事情に学ぶ難民・移民家族への子育て支援」です。質疑応答が盛んに行われ有意義なセミナーとなりました。また和光大学の制野俊弘准教授をお招きしてシンポジウム「学校における教師・カウンセラーの『連携』の実際と課題」を開催しました。多くの方々に参加いただき連携について理解を深めることができました。 助手 末吉 ちあき (教育研究所)

“かづきれいこ”がやってくる。

薬学部が主催する「薬と健康フェア」に、おしゃれ女子なら誰でも知っている“かづきれいこ”さんが登壇されます。

開催日：2019年3月17日(日)
テーマ：「美容について、メイクによる認知症やうつ
の改善」

ゲスト講演者：かづきれいこさん
講演タイトル：健康を粧から考える～化粧の力～「かづきれいこのリハビリメイク」
場所：西宮市医師会看護専門学校および西宮医療会館
他にも、お薬のことだけでなく、健康全般に関して何でも気軽に無料で相談できます。入場無料、秘密厳守ですので遠慮なくご来場ください。



教授 森山 賢治 (大学 薬学科)

看護MFWIプログラム第1期生



グループワークの様子

昨年8月に看護学科開設以降初となるMukogawa Fort Wright Institute (MFWI) 研修を実施しました。看護学科2～3年生と大学院生8人が抜群のチームワークで英語学習や医療施設見学、ワシントン州立大学でのシミュレーションやヘルスアセスメント演習に取り組みました。

准教授 本間 裕子 (大学 看護学部)

短大 学び発見ゼミの紹介



発表の様子

共通教育では、短大生のみで構成される様々な「短大 学び発見ゼミ」を開講しています。ゼミは少人数の演習形式で行われ、学生自らが主体的に探究することを目的としています。「人間の心理と行動を考える」のゼミでは、班に分かれ、自分たちの興味のあるテーマを設定し、データを集めて、最後に発表します。班員は様々な学科の初対面の学生から成るので、各自の興味関心が異なり、テーマ設定から難しく、話し合いにも時間がかかります。しかし、その分、発表会は盛り上がり、達成感を味わっています。 講師 寺井 朋子 (大学 共通教育部/短大 共通教育科)

武庫川 TOPICS

#42

学園全体のニュースを知るにはこのページをチェック! キャンパスの情報をご紹介します!!

国文学会公開学術講演会を開催しました



大盛況だった講演会の様子

12月8日に国文学会公開学術講演会を開催しました。光村図書出版で国語教科書の編集を手掛けられている山本智子氏をお招きし、「国語教科書のできるまで—誰もが必ず使うのに、意外と知られていない教科書にまつわるあれこれ—」と題してお話いただきました。来場者は280人にのぼり、立ち見ができるほどの盛況でした。 講師 小泉 京美 (大学 日本語日本文学科/短大 日本語文化学科)

地域高齢者への自家製野菜のおすそ分け事業



温かい汁物と楽しい会話



お持ち帰りの大根

栄養科学研究所では高齢者への食事支援システム構築に向けて、毎年末に研究所の畑で収穫した大根のお裾分けを行っています。当日は地域の方と一緒に作った温かい汁物を食べていただきながら冷凍もできる大根丸ごとレシピの紹介と食物栄養学科の学生との会話を楽しんでいただきます。帰りには葉つき大根を持ち帰っていただきました。 研究員 谷野 永和 (大学 食物栄養学科/短大 食生活学科)

甲子園会館ライトアップで建築学専攻の院生が制作した作品を展示しました



甲子園会館庭園に展示された「HPシェルによる塔「KAGUYA」」



甲子園会館南側広場に展示された「薄肉モルタルのドーム「Meteo-Light」」

毎年恒例の「甲子園会館ライトアップ」が11月24日・25日に開催され、約6900人もの方々にご来場いただきました。会場には大学院建築学専攻の院生が演習授業で共同制作した「HPシェルによる塔」や「薄肉モルタルのドーム」などをライトアップして展示しました。原寸大の建築空間の企画・設計・制作を通して実践力を鍛えるという専攻の特徴を、広く知っていただくよい機会になりました。 教授 杉浦 徳利 (大学 建築学科/大学院 建築学専攻)

心理コース・大学院で 学外実習開始!

今年度から、国家資格である公認心理師養成カリキュラムの一貫として、学外実習が始まりました。学部生および大学院生が、保健医療・福祉・教育・医療・司法といった分野の施設に派遣されます。臨床現場で働く心理職の役割や、利用者との関わり方、そのための知識や技能を実践的に学び、将来の資格取得を目指します。

教授 安藤 明人

(大学 心理・社会福祉学科/短大 心理・人間関係学科)

学びの集大成としての卒業展



大学卒業研究展



短大卒業制作展

卒業学年の全員が展示する卒業展を、毎年学内で行っていきます。2019年1月26日～29日に短大生活造形学科卒業制作展を、2月5日～8日に大学生生活環境学科卒業研究展を開催しました。学外の方も含め多くの方にご来場いただき学びの成果をご覧いただきました。

学科長 牛田 智

(大学 生活環境学科/短大 生活造形学科)

SSH成果発表会が行われました



英語で発表する生徒たち

12月23日にSSH成果発表会が公江記念講堂で行われました。

スーパーサイエンス(SS)コースや創造サイエンス(CS)コースの生徒たちが研修報告や、日ごろから取り組んでいる研究、活動の成果を発表しました。高校3年は英語で発表もしました。ポスターセッションにおいても素晴らしい出来栄で質問にも丁寧に答えている姿が印象的でした。

校長 藤森 陽子
(附属中学・高校)

日本調理科学会平成30年度大会で研究成果を発表



発表に参加した大学院生

日本調理科学会平成30年度大会(2018年8月30日・31日の2日間)が本学の中央キャンパスにおいて開催され、栄養科学研究所食品栄養部門では米麹甘酒による調理への利用に関する科学的解明、鮮度を効果的に保つCAS冷凍技術などの研究成果を本学の大学院生が発表しました。

研究員 松井 徳光
(栄養科学研究所)

第1回「武庫川女子大学言語文化研究所フォーラム」開催



質疑応答の様子

本フォーラムは言語文化研究所と神戸大学との大学間教育連携プロジェクト活動の一環です。記念すべき第1回は12月25日に「綴り方教育と言語文化」をテーマに、兵庫県下・海外の綴り方教育、作文、言語文化などの発表が行われました。25人の参加者との議論も盛り上がり、今後の活動に向けて着実な一歩を踏み出しました。

研究員 岸本 千秋
(言語文化研究所)

2018年度公開講座を開催しました



山下仰先生による講演

今回は、山下仰氏(心理・社会福祉学科教授・精神科医)に「発達障害の5年・10年先のために今なにをすればよいのだろうか?」と題して、発達障害の基礎知識から、聞く機会の少ない成人後の支援の在り方まで、分かりやすく講演いただきました。当日は、定員いっぱいの方にお越しいただき、関心の高さがうかがえました。

助手 梶本 雪子
(発達臨床心理学研究所)

“楽しく合奏したよ!”



5歳児の合奏

附属幼稚園のクリスマス会で、学年ごとに合奏をしました。

みんなで一緒に楽器を鳴らすのが初めての3歳児、演奏する楽器にピアノが加わり、少し難しかったけれど頑張った4歳児、5歳児は難しいリズムを太鼓や小太鼓、鉄琴や木琴などたくさんの楽器で合奏、素晴らしい演奏ができました。終業式の日には、保護者の皆さまにも聴いていただき、子どもたちは楽しい合奏を披露することができました。

園長 大江 嘉津子
(附属幼稚園)

地域防災訓練を行いました



消防自動車を見学する子どもたち

隣接する「子育てひろば」と連携し、地域防災訓練を実施しました。毎年、鳴尾消防署立ち会いの下、火災を想定した消防訓練を地域の方々と共にしています。クローバー広場への避難、職員による消防署への通報に加え、水消火器を使った消火訓練を地域の方々も一緒にしました。訓練の後、子どもたちは保育園にやってきた消防車の見学もさせてもらい、消防士さんにいろいろと質問をしながら様々な機能を備えた消防車にくぎ付けでした。

園長 大槻 伸子
(附属保育園)

360度映像でキャンパスを仮想体験<VR>



中央キャンパスを360度で仮想体験できるホームページを制作。西門からの桜のトンネルや鳴尾駅からキャンパスまでの自動道案内も。スマホからQRコードでアクセスしてください!市販のスマホ用VRゴーグル(通販で2,3千円)を使えば、さらに臨場感あふれる3Dに!パソコンからは<http://mwu.jp/360>

センター長 丸山 健夫
(情報教育研究センター)

第28回秋季シンポジウムを甲子園会館西ホールで開催



パネルディスカッションの様子

12月1日に「阪神間モダニズムの観る景色」と題し、河崎晃一先生(甲南女子大学教授)、河内厚郎先生(評論家・文化プロデューサー)、三宅正弘研究員(生活美学研究所)に、阪神間モダニズムが引き継いだ芸術文化について基調講演をいただきました。後半のパネルディスカッションでは多数の参加者も交え、活発な研究討議となりました。

助手 前川 多仁
(生活美学研究所)

ゴンザガ大学でキャリア講義を受講しました



講義の様子

大英エクステンション・プログラム参加学生がゴンザガ大学キャリア・プロフェッショナル開発センターを訪れDr. Mary Heitkemper先生によるキャリア講義を受講しました。学生にとって将来のキャリアや就活について考える機会となりました。MFWIでは米国でしかできない経験を手にすることができます。

副学長 中原 朗裕
(MFWI)

トライやる・ウィーク in Tanrei



タブレットを使用したグループワーク

昨年11月、トライやる・ウィーク実施にあたり、北神戸中学校の5人の生徒を実習生として受け入れられました。丹嶺学苑での研修受け入れ体験や野外クッキング、グループ発表会などを通して、仕事の意義・おもてなしの心・仲間と協力することの大切さを学び取ってくれました。

丹嶺学苑を、ひいては武庫川学院を知っていただく良い機会として、今後も積極的にトライやる・ウィークの活動に協力していきます!

荒神 梨恵
(丹嶺学苑研修センター)

白鶴酒造と研究所が共同開発した「さけうま雑炊」を発売



共同開発に加わった附属高校生

国際健康開発研究所で食育を学ぶ、主婦や大学生、附属の高校生らが、白鶴酒造と共同で「酒米」を使用し、「まごはやさしい」の食材を使った「さけうま雑炊」を開発し12月10日から発売しています。フリーズドライ食品としては珍しい「ヘルシー&バランス」にこだわり、しかも「適塩」で、身体にも優しい商品です。ぜひ、一度お試しください。

研究員 森 英樹
(国際健康開発研究所)

ジェンダーバイオサイエンスのセミナー開催



公開セミナーチラシ

女性特有の症状・疾患に関する公開セミナーを10月20日に実施しました。講師に江川美保先生(京都大学)、甲村弘子先生(医療法人フラウエン)をお招きして、性差医療・女性医学をテーマとしてご講演いただきました。文化祭での開催のため、教員だけでなく学生も参加して、質問を交えながらの研修となりました。

研究員 村田 成範
(バイオサイエンス研究所)

「シルクロードの文化と建築」講演会を開催



会場の様子

2015年より東京で「シルクロードの文化と建築」講演会シリーズを開催しています。1月19日に第9回「スツープ・パク・仏塔>信仰の文化」と題して、名古屋大学および龍谷大学名誉教授の宮治昭氏、龍谷大学の岩井俊平氏にご講演をいただきました。バンスリー奏者の寺原太郎氏による演奏も行われ、盛況のうちに会を終了致しました。

研究員 柳沢 和彦
(トルコ文化研究センター)



就活にお役立ち オススメ小物

手帳

手帳とノートが一冊になった物を愛用していて、説明会で聞いたことをノートにメモしていました。志望動機につながりそうなポイントを意識してメモを取り、その情報は面接試験などでも生かされました！

眼鏡関連の企業の説明会に行つてみようと考え、最初に参加したのが内定先の「メガネの田中」でした。眼鏡選びが楽しくなるような接客を実践し、「楽しい時間を過ごしてらうっ」が同社のコンセプト。私自身「楽しく生きる」を人生のモットーにしていたので、そのお話を伺った時にピッタリとききました(笑)。その後、面接に進み、約1か月後の6月には就職内定。相性が良かったのか、とんとん拍子に話が進みました。

補聴器を今以上に
多くの人に広めたい

就職試験の可否通知は、通常エントリーした就職サイト経由で送られてきます。「メガネの田中」では、それ

武庫川 就職 掲示板



気になる就職活動の“今”をお伝えするコーナー。

文学部 日本語日本文学科 4年生

楠木 遥さん

大阪府立泉陽高校出身

3年生の1月までに
履歴書を完成させる



3年生の夏休みにキャリアセンター主催の「就職対策講座」就活をまるごと体験しよう」を受講。そこで履歴書の書き方の指導や面接練習、SPI（総合適性検査）の試験などを受け、就職活動の一連の流れを知りました。その際にキャリアセンターの利用法なども教わり、11月から活用するように。少しでも就職活動をスムーズにスタートさせるため、職員の方にアドバイスをいたたく中で、年明けの1月までに履歴書を完成させました。

私は1年生の時から学生広報スタッフとして活動しており、ちよつと

房貝メーカーを中心に回りました。ただ、就職活動が続いていく中で、単純に好き・嫌いというだけではなく、本当にやりたい仕事は何か？を見詰め直し、その時に浮かび上がってきたのが「眼鏡」でした。

私自身、昔から眼鏡を愛用しており、最近ではファッションアイテムとしての認知も広がっています。また眼鏡の販売店では補聴器の取り扱いもあり、そうした「人の役に立つ」商品を提供する現場に立ち会えるのは、やりがいのあるすてきな仕事なんじゃないかと思いました。

とは別に人事担当の方からも一次面接の後に直接メールでメッセージをいただいたんです。合否審議の際に面接を担当してくれたさつた取締役の方が、「一緒に働きたい」と言ってくたさじり、満場一致で合格になったと書かれてあり、飛び上がって喜びました(笑)。私も「ここで働きたい」という気持ちが一層強くなりました。

まずは販売職からキャリアがスタートします。お客さまと密に触れ合う中で眼鏡だけでなく、装着に抵抗がありがちな補聴器などの商品の魅力を伝えていければと思います。お客さまの希望に寄り添いながら不安を取り除き、安心して使ってもらえるよう接客をするのが目標です。

メガネの田中チェーン株式会社

総合職

「身近なものに携わる仕事に就きたい」
その夢を実現することが
できました！

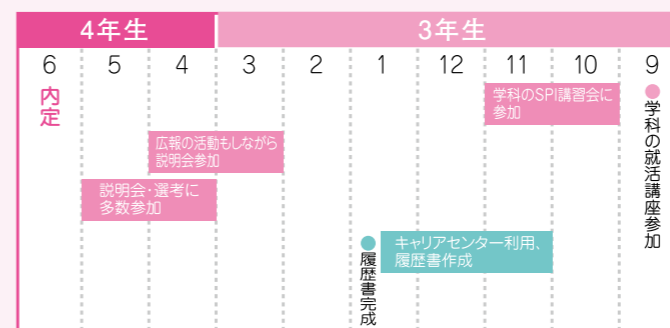
自分が愛用する「身近なものに携わる仕事」を軸に就職活動に臨んだという楠木さん。内定先は眼鏡や補聴器などを取り扱う企業で、その夢を実現。準備段階や説明会での運命的な出会いなど、就職内定に至るまでの取り組みについて詳しくお伺いしました。

同じ時期に学内情報誌March（マーチ）の制作に取り組んでいました。私を含む3人のメンバーが中心となって企画・取材・編集を行い、制作は大変でしたがその分、納得のいく誌面が出来上がったと思います。このMarchの制作の経験も、面接試験などでの自己PRに役立ちました。

企業説明会で
「ヒトにききた!」

私が就職活動の軸にしていたのが、「身近なものに携わる仕事」ということ。自分が好きなもので、日常的に接している商品を販売する仕事に就きたいと考え、当初は食品メーカーや文

内定までの就活スケジュール



Myピタモン

説明会や面接が終わった後に母と待ち合わせをして、よく行っていたのが大好きな博物館や美術館です。自分へのご褒美的な感じで、静かな空間で作品などに触れることで、気分をリフレッシュできました。



まずは経験することが大切

当初は内定先とはまったく違う業界を回っていましたが、いろいろな業界を見たことで本当にやりたいことが見つかりました。無駄になることはないの、まずは経験することが大切!

ポジティブシンキング

就職活動では、エントリーシートで落とされることも普通にあります。くよくよせず、どんなことでも次に生かせると前向き、ポジティブに取り組む姿勢が大切です。

準備は早く!

就職活動が解禁になってからは何かと慌ただしくなるので、履歴書やエントリーシートの準備はできるだけ早めに。年内か年明けの1月中くらいに仕上げるのがベストです。

後輩への アドバイス



食堂・カフェ リニューアル



武庫川学院創立80周年に向けた“学生ファースト”の取り組みの一つとして、学生が食事時に限らず、気軽に立ち寄れる居場所を作ろうと、中央キャンパスの食堂とカフェがリニューアルしました。



公江記念講堂地階食堂 アゼリア



アゼリアの全面リニューアルは約30年ぶり。4人がけのテーブルを中心に、カウンターや長テーブルを配置。床や柱は木目調の温かみある素材で統一し、おしゃれなレストランのようになりました。



レセプションパーク

リニューアル ポイント

食事だけでなく、会議やパーティーにも使える「レセプションパーク」を新たに設けました。メインスペースと連続性を持たせながら、床にカーペットを敷き詰め、六角形の白テーブルと黒の椅子で高級感を演出。可動式の間仕切りで、自由な使い方ができます。



クリステリア 1・2階 日下記念マルチメディア館3階MMカフェ



クリステリア1階のマクドナルドは家具に黒を効果的にきかせ、4色のシックな丸椅子を配置して、ラグジュアリーになっています。



2階には、新たに華SAKUクリステリア店が入り、栄養バランスを考えたメニューが満載。ランチタイムだけでなく、朝食、手作りおやつや軽食を提供する「おやつ広場」、夜ご飯の営業もあります。(※2～3月はランチ営業のみ)



MMカフェでは、毎朝手作りのパンを焼いています。一番人気は紅茶のスコーンです。



リニューアル ポイント

アゼリアと同時に、クリステリア1・2階と日下記念マルチメディア館3階カフェの天井や壁も、白を基調に塗り替え、照明も明るく刷新しました。



学生・生徒の活躍

日々の努力が生み出した、華々しい受賞結果をご報告



大学・短大

カヌー部

- カヌースプリントジュニア・U23世界選手権大会(ブルガリア7~8月)
 - 個人 WK-1 500m 準決勝敗退 原 綾海
- 関西学生カヌー選手権大会(兵庫8月)
 - 団体 女子カナディアン部門 1位
- FSU世界大学カヌースプリント選手権大会(ハンガリー8月)
 - 個人 WC-1 500m 6位 西分 友貴子
 - 個人 WC-2 500m 4位 足立 花笑、西分 友貴子
 - 個人 WK-1 500m 8位 原 綾海
 - 個人 WK-2 500m 準決勝敗退 原 綾海、薦田 遥
- 全日本学生カヌースプリント選手権大会(石川8月)
 - 個人 JWK-1 200m 1位 生橋 愛子 2位 井崎 里美
 - 個人 JWK-1 500m 1位 井崎 里美 2位 生橋 愛子
 - 個人 JWK-2 500m 1位 生橋 愛子、井崎 里美
 - 個人 WC-1 200m 3位 西分 友貴子 6位 足立 花笑
 - 個人 WC-1 500m 2位 西分 友貴子 4位 足立 花笑 5位 宮下 幸子
 - 個人 WC-2 200m 2位 阿部 寧華、宮下 幸子
 - 個人 WC-2 500m 1位 足立 花笑、西分 友貴子 4位 阿部 寧華、宮下 幸子
 - 個人 WK-1 200m 3位 原 綾海 5位 平尾 和奏
 - 個人 WK-1 500m 2位 原 綾海
 - 個人 WK-1 500m×4 Relay 1位 平尾 和奏、原 綾海、薦田 遥、森山 萌
 - 個人 WK-2 200m 5位 森山 和佳奈、薦田 遥 6位 大川 七南、小西 風花
 - 個人 WK-2 500m 1位 原 綾海、薦田 遥 2位 森山 和佳奈、森山 萌 8位 丸岡 凜子、大川 七南
 - 個人 WK-4 500m 3位 平尾 和奏、原 綾海、森山 和佳奈、薦田 遥
 - 団体 女子カナディアン部門 1位
 - 団体 女子カヤック部門 1位
 - 団体 女子総合 1位
- SUBARU日本カヌースプリント選手権兼カヌースプリント海外派遣選手一次選考会(石川9月)
 - 個人 WK-1 1000m 2位 森山 萌
 - 個人 WK-1 500m 5位 原 綾海
 - 個人 WK-2 500m 3位 平尾 和奏、原 綾海
- 全日本学生カヌー長距離選手権大会(岐阜11月)
 - 個人 WC-1 10000m 1位 足立 花笑 3位 阿部 寧華
 - 個人 WK-1 10000m 2位 原 綾海 3位 森山 和佳奈 4位 丸岡 凜子 5位 梅原 佐公
- 全日本長良川カヌー長距離選手権大会(岐阜11月)
 - 個人 WC-1 10000m 1位 足立 花笑 4位 阿部 寧華
 - 個人 WK-1 10000m 3位 原 綾海 4位 森山 和佳奈 5位 丸岡 凜子 6位 梅原 佐公

新体操部

- 全日本学生新体操選手権大会(群馬8月)
 - 個人 女子種目別リボン 4位 西本 優
 - 団体 団体種目別フープ5 5位
 - 団体 女子団体総合 6位
- 全日本新体操選手権大会(千葉10月)
 - 団体 女子団体種目別ボール3・ロープ2 3位
 - 団体 女子団体総合 1位

水泳部

- 関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会(大阪6月)
 - 個人 女子100m平泳ぎ 1位 吉岡 千尋
 - 個人 女子200m平泳ぎ 1位 吉岡 千尋

- 個人 女子400mメドレーリレー 1位 今西 志帆、吉岡 千尋、宗行 香居、安岡 亜美
- FINAアーティストスイミングワールドシリーズアメリカオープン2018大会(アメリカ・ロサンゼルス6月)
 - 個人 ハイライトルーティン 2位 太田 有美
 - 個人 フリーコンビネーション 2位 太田 有美
- 関西学生選手権水泳競技兼日本学生選手権水泳競技関西支部予選会(大阪7月)
 - 個人 女子100m自由形 1位 宗行 香居
 - 個人 女子100m背泳ぎ 1位 仲野 優女
 - 個人 女子100m平泳ぎ 1位 吉岡 千尋
 - 個人 女子200m背泳ぎ 1位 仲野 優女
 - 個人 女子200m平泳ぎ 1位 吉岡 千尋
 - 個人 女子400mフリーリレー 1位 長島 知里、三上 純心、仲野 優女、宗行 香居
 - 個人 女子400mメドレーリレー 1位 吉岡 千尋、植田 寿乃、仲野 優女、宗行 香居
- 日本アーティストスイミングチャンピオンシップ2018(尼崎8月)
 - 個人 チームテクニカルルーティン 3位 太田 有美
 - 個人 チームフリールーティン 1位 太田 有美
 - 個人 ハイライトルーティン 1位 太田 有美

体操部

- 全日本体操種目別選手権大会(群馬6~7月)
 - 個人 女子種目別 平均台 3位 平岩 優奈
- 全日本学生体操競技選手権大会(尼崎8月)
 - 個人 女子個人総合 1位 平岩 優奈 6位 河崎 真理菜
 - 個人 女子種目別 ゆか 1位 平岩 優奈 4位 河崎 真理菜 6位 土橋 ココ
 - 個人 女子種目別 段違い平行棒 2位 金田 明里 5位 土橋 ココ
 - 個人 女子種目別 跳馬 4位 河本 まどか
 - 個人 女子種目別 平均台 1位 河崎 真理菜 2位 土橋 ココ
 - 団体 女子団体総合 2位
- 国民体育大会(福井9~10月)
 - 個人 【福井県代表】成年女子団体総合 1位 夏目 侑香
 - 個人 【兵庫県代表】成年女子団体総合 2位 河崎 真理菜、安井 若菜、平岩 優奈、本田 美波、小笠原 希

タッチフットボール部

- 春季関西学生女子タッチフットボールリーグ(兵庫4~5月)
 - 団体 タッチフットボール競技 1位
- シュガボールTOUCH DOWN杯争奪タッチフットボール日本選手権(神奈川6月)
 - 団体 タッチフットボール競技 2位
 - 個人 ベストメンバー 山本 深由奈
 - 個人 ベストメンバー 青山 沙樹
- プリンスポル東大西大王座決定戦(兵庫12月)
 - 団体 タッチフットボール競技 2位
 - 田中 なつみ、倉重 紅音、田中 結衣、山本 深由奈、山川 萌木、堀尾 志緒、宮田 まどか、山本 百花、青山 沙樹、朝川 香月、休徳 眞子、中田 優香

バスケットボール部

- 日本女子学生選抜バスケットボール大会(名古屋7月)
 - 個人 2位 土田 帆乃香、飯尾 友香

ハンドボール部

- U20女子ジュニア世界選手権(大阪、ハンガリー6~7月)
 - 個人 ハンドボール競技 14位 舟久保 朱音

陸上競技部

- 日本学生陸上競技個人選手権兼U20世界陸上派遣選手権大会(神奈川6月)
 - 個人 女子棒高跳 2位 森田 彩
- 日本陸上競技選手権兼アジア競技日本代表選手権大会(山口6月)
 - 個人 女子走幅跳 2位 秦 澄美鈴
 - 個人 女子走幅跳 1位 秦 澄美鈴
- 西日本学生陸上競技対校選手権大会(沖縄6~7月)
 - 個人 女子走幅跳 1位 秦 澄美鈴
- 日本学生陸上競技対校選手権兼ユニバーシアード日本代表選考(神奈川9月)
 - 個人 女子走高跳 6位 秦 澄美鈴
 - 個人 女子走幅跳 1位 秦 澄美鈴

- 個人 女子棒高跳 5位 金治 良佳
- 関西学生陸上競技種目別選手権大会(大阪10月)
 - 個人 女子7種競技 1位 堂脇 優香

なぎなた部

- 全日本学生なぎなた選手権大会(埼玉8月)
 - 個人 なぎなた競技 4位 高家 莉乃

野球部

- 関西地区大学女子軟式野球連盟春季リーグ戦(大阪5~6月)
 - 団体 野球競技 1位
- 全日本大学女子野球選手権大会(富山8月)
 - 団体 野球競技 4位
- 関西女子野球選手権大会(大阪9~10月)
 - 団体 野球競技 1位
- 関西地区大学女子軟式野球連盟秋季リーグ戦(大阪9~11月)
 - 団体 野球競技 1位

コーラス部

- 関西合唱コンクール(いたみホール)(兵庫10月)
 - 団体 大学ユース合唱の部 銀賞

書道部

- 日本学生・生徒・児童・書道展覧会(11月)
 - 個人 第三部(漢字) 入選 門野 瑞穂
 - 個人 第三部(漢字) 入選 原 琴名
 - 個人 第四部(仮名) 準特選 原 琴名
 - 個人 第四部(仮名) 入選 門野 瑞穂
 - 個人 第四部(仮名) 入選 新田 早優

チアリーディング《個人》

- 世界大学チアリーディング選手権大会(ポーランド9~10月)
 - 個人 HIP HOP部門 1位 宮川 秀美

フィンスイミング《個人》

- フィンスイミング短水路日本選手権大会(11月)
 - 個人 女子4×50m サーフィスリレー 選手権の部 1位 續 琴音
 - 個人 女子50m CMASビーフィン 選手権の部 1位 續 琴音
 - 個人 女子25m サーフィス 選手権の部 2位 續 琴音

ダイビング《個人》

- 全日本スポーツダイビング室内選手権大会(12月)
 - 個人 400m フリップパー女子 1位 續 琴音

中学・高校

器械体操部

- 第72回近畿高等学校体操競技選手権大会(大阪6月)
 - 団体総合 2位
 - 個人総合 優勝 高校2年/二宮 さやか
 - 跳馬、段違い平行棒、平均台 優勝 高校2年/二宮 さやか
- 第67回近畿中学校総合体育大会体操競技大会(大阪8月)
 - 団体総合 5位
- 全国高等学校総合体育大会体操競技(静岡8月)
 - 団体 12位
- 第73回国民体育大会(福井9~10月)
 - 体操競技 団体10位 高校3年/中野 優希
 - 高校2年/二宮 さやか

新体操部

- 第25回近畿ジュニア新体操女子選手権大会(京都9月)
 - 女子団体の部 7位

水泳部

- 第72回近畿高等学校水泳競技大会(和歌山7月)
 - 200m個人メドレー 8位 高校1年/西本 怜
 - 400m個人メドレー 6位 高校1年/西本 怜
 - 200mバタフライ 9位 高校1年/中達 綾乃
 - 4×200mフリーリレー 12位 高校1年/西本 怜、高校1年/小川 桃香 高校3年/辻 沙緒、高校3年/竹内 美希 ※全国大会に出場決定
- 第67回近畿中学校総合体育大会水泳競技大会(大阪8月)
 - 4×100mメドレーリレー 8位 中学3年/酒井 優真、中学3年/大橋 鈴羅 中学2年/丸井 花音、中学1年/合葉 愛美

- 4×100mフリーリレー 10位 中学3年/大橋 鈴羅、中学3年/酒井 優真 中学2年/丸井 花音、中学1年/合葉 愛美

- 平成30年度国民体育大会水泳競技(福井9月)
 - 100mバタフライ 13位 高校1年/中達 綾乃
 - 4×100mメドレーリレー (バタフライ) 12位 高校1年/中達 綾乃
 - 200m個人メドレー 10位 高校1年/西本 怜
- 第2回近畿高等学校選手権新人水泳競技大会(奈良10月)
 - 4×100mメドレーリレー 8位 高校1年/中嶋 望々花、高校1年/西本 怜 高校1年/中達 綾乃、高校1年/北山 ひより
 - 4×100mフリーリレー 10位 高校1年/小川 桃香、高校1年/足立 理音 高校1年/西本 怜、高校1年/北山 ひより
 - 200m個人メドレー 3位 高校1年/西本 怜
 - 100mバタフライ 3位 高校1年/中達 綾乃

ソフトボール部

- 第61回近畿高等学校ソフトボール大会(兵庫7月)
 - 5位

創作ダンス部

- 第31回全日本高校ダンスフェスティバル神戸(兵庫8月)
 - 出場 「なみだうた〜谷川俊太郎詩集より〜」

バトントワリング部

- 第40回バトントワリング関西大会(兵庫11月)
 - 学校部門高等学校の部 金賞
 - 学校部門中学校の部 銀賞
- 第46回バトントワリング全国大会(千葉12月)
 - 高等学校の部 金賞

マーチングバンド部

- 第40回マーチングバンド関西大会(和歌山11月)
 - 高等学校の部 全国コンテスト部門 金賞
 - ※高等学校の部には中学生も出演

放送部

- 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト(東京7月)
 - アナウンス部門 出場 高校3年/小林 莉花子、野口 萌
 - 朗読部門 準々決勝 高校3年/松田 愛
 - ラジオドキュメント部門 全国優勝・文部科学大臣賞「あの夏の記憶」
- 第35回NHK杯全国中学校放送コンテスト(東京8月)
 - アナウンス部門 決勝進出 優良賞 中学3年/金山 未来
 - 大会出場 中学3年/陳 来華
 - ラジオ番組部門 大会出場「裏方楽器」
 - テレビ番組部門 大会出場「これからはやすらぎを」
- 第100回全国高等学校野球選手権記念大会
 - 司会 高校3年/小林 莉花子

コーラス部

- 第85回NHK全国学校音楽コンクール近畿大会(大阪9月)
 - 高校の部 金賞 中学の部 銀賞
- 第85回NHK全国学校音楽コンクール全国大会(東京10月)
 - 高等学校の部 優良賞
- 第73回全日本合唱コンクール関西大会(兵庫9月)
 - 高等学校部門 金賞
 - 中学校部門 同声合唱の部 金賞
- 第71回全日本合唱コンクール全国大会(長野10月)
 - 高等学校部門 Bグループ 銀賞
 - 中学校部門 同声合唱の部 銀賞

SSコース

- 第8回バイオサミット in 鶴岡(山形7~8月)
 - 審査員特別賞 高校3年/松枝 春佳

全校生徒参加

- 第29回伊藤園おい茶新俳句大賞
 - 佳作特別賞 中学2年/松本 桃子、金田 美月、西川 陽菜
 - ※学校全体で団体賞を受賞

馬術《個人》

- 第73回国民体育大会(静岡10月)
 - 少年の部 馬場馬術 12位 高校1年/棟安 歩裕実

スペースの都合上、代表的な成績を抜粋しています。記載されている学年は受賞時のものです。大学・短大運動部の成績はスポーツセンターのホームページおよび健康・スポーツ科学科公式サイト内のブログ「MWU-Athletics.com」、中高生徒の活躍は毎月発行される「中高だより」にも詳しく掲載されています。

HONITANA

ホッキョクグマ



著者名 BL出版
出版年 2018.03
寄贈者 福本 由紀子(英文)

図解健康業界ハンドブック



著者名 高橋千枝子
出版者 東洋経済新報社
出版年 2004.07
寄贈者 高橋千枝子(社会科学系学部設置準備室)

高くても売れる!7つの法則



「平成ニューリッチ」とラグジュアリー・マーケティング

著者名 高橋千枝子
出版者 ダイアモンド社
出版年 2006.05
寄贈者 高橋千枝子(社会科学系学部設置準備室)

「肥満解消」マーケティング



成長市場を攻略する"7つのS"と6つの"C"

著者名 高橋千枝子、有元 裕美子
出版者 日本経済新聞出版社
出版年 2009.4
寄贈者 高橋千枝子(社会科学系学部設置準備室)

身体に託された記憶



台湾原住民の土俵をもつ相撲

著者名 渡邊 昌史
出版者 明和出版
出版年 2012.1
寄贈者 渡邊 昌史(健康)

台湾原住民族の音楽と文化



著者名 下村 次作郎
出版者 草風館
出版年 2013.12
寄贈者 渡邊 昌史(健康)

はじめてでもやさしいストーマ・排泄ケア



基礎知識とケアの実践

著者名 藤本 かおり、宮嶋 正子
出版者 学研メディカル秀潤社
出版年 2018.3
寄贈者 宮嶋 正子(看護)

横濱新報もしほ草



平成二十九年度武庫川女子大学文学部
教育学科卒業研究、第一巻：総索引

著者名 山口 豊、嶋谷 茜、末平 瑠
出版者 武庫川女子大学文学部
教育学科国語研究室
出版年 2018.2
寄贈者 山口 豊(教育)



横濱新報もしほ草



平成二十九年度武庫川女子大学文学部
教育学科卒業研究、第二巻：総索引

著者名 山口 豊、嶋谷 茜、末平 瑠
出版者 武庫川女子大学文学部
教育学科国語研究室
出版年 2018.2
寄贈者 山口 豊(教育)

『徒然草』から学ぶ生き方



著者名 山口 豊
出版者 神戸新聞総合出版センター
出版年 2018.7
寄贈者 山口 豊(教育)

障害児保育



著者名 鶴 宏史
出版者 晃洋書房
出版年 2018.5
寄贈者 鶴 宏史(教育)

菜の花の駅



著者名 河崎 洋充
出版者 編集工房ノア
出版年 2018.8
寄贈者 河崎 洋充(共通)

薬効別服薬指導マニュアル 第9版



著者名 田中 良子
出版者 じほう
出版年 2018.6
寄贈者 政田 啓子(薬学)

現代物理学が描く宇宙論



著者名 真貝 寿明
出版者 共立出版
出版年 2018.9
寄贈者 真貝 寿明(共通)

エビデンスにもとづいた入院している子どもの転倒・転落防止ガイドブック



著者名 藤田 優一
出版者 武庫川女子大学
出版部
出版年 2018.3
寄贈者 藤田 優一(看護)

人道支援は誰のためか



スーダン・ダルフール国内避難民社会に見る人道支援政策と実践の交差

著者名 堀江 正伸
出版者 晃洋書房
出版年 2018.11
寄贈者 堀江 正伸(英文)

新しい国際協力論 改訂版



著者名 山田 満
出版者 明石書店
出版年 2018.12
寄贈者 堀江 正伸(英文)



★ おすすめ映画 ★

22年目の告白 —私が殺人犯です—



「22年目の告白 —私が殺人犯です—」
ブルーレイ/DVD 3,990円+税
ワンナー・プラザ・ホームエンターテイメント
(C)2017 映画「22年目の告白—私が殺人犯です—」製作委員会

おすすめポイント

最後まで展開が読めず、終始ハラハラさせられる作品です。「本当に彼は犯人なのか？」と推理していくのが楽しくて、映像から目が離せませんでした！友達と一緒に見て、推理していくのも楽しいです。

作品中では、現代社会のメディアやSNSが社会に及ぼす影響力、殺人事件によって傷付けられ、残された人たちの心情がリアルに描かれています。伏線の回収もパッチリされているので、一度見た方もぜひもう一度見てほしいです！2回目で気付くこともたくさんあって、作品をより理解できます。

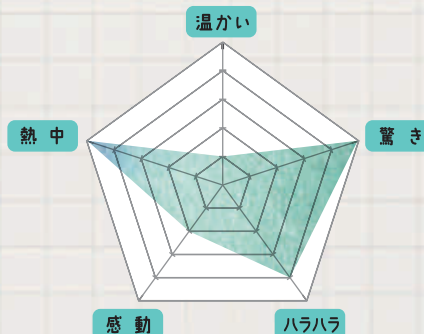


「私が犯人です」。そう言って派手なパフォーマンスとともに世間に姿を現したのは曾根崎雅人という男。彼は、1995年に東京で起きた連続絞殺事件の犯人だと自ら名乗り出る。その手口は被害者と関係者を向かい合わせ、殺害の様子を目撃させるといった残酷なものだった。その事件から22年の時を経た今、彼の行動は瞬く間に日本中に波紋を広げている。彼の真の目的はいかに。

あじすじ

韓国映画「殺人の告白」を、「SR サイタマノラッパー」シリーズなどで知られている入江悠監督が日本版にアレンジしている。特に物語中盤以降は日本版にしか登場しない人物もあり、オリジナル要素が強くなっている。日本で実際に起きたことも取り入れ、現代のメディアの影響力もリアルに演出している。22年前に残酷な事件を起こした連続殺人犯を藤原竜也、事件発生時から犯人を追ってきた刑事を伊藤英明が演じる。

解説



BookCenter
CULTURE
RANKING

売れ筋ランキング@大学ブックセンター(紀伊國屋書店に委託)調べ2018年9月~12月の売り上げを基に集計

BOOK TOP 10

1. 花だより みをつくり料理帖特別巻/高田郁/角川春樹事務所
2. アンと青春/坂本司/光文社文庫
3. ポイズンドーター・ホーリーマザー/湊かなえ/光文社文庫
4. 人魚の眠る家/東野圭吾/幻冬舎文庫
5. 英単語の語源図鑑/清水建二・すずきひろし/かんき出版
6. オトナ女子の整理術/新星出版社
7. アウシュヴィッツの歯科医/ベンジャミン・ジェイコブス/紀伊國屋書店
8. 日本国紀/百田尚樹/幻冬舎
9. 豆の上で眠る/湊かなえ/新潮文庫
10. 長流の畔 流転の海 第8部/宮本輝/新潮文庫

MAGAZINE TOP 10

1. AERA
2. WINK UP
3. an・an
4. Myojo
5. non・no
6. CanCam
7. Ray
8. mer
9. ViVi
10. mina

CD&DVD TOP 5

1. ジャニーズWEST 「WESTV!」
2. 嵐 「君のうた」
3. 関ジャニ∞ 「ここに」
4. ジャニーズWEST 「ジャニーズWEST LIVE TOUR 2018WESTival」
5. ゆず 「LIVE FILMS BIG YELL」

2019年、武庫川学院 創立80周年

様々な記念事業が行われています



武庫川女子大学ラジオ
MUKOJOラジオ
好評放送中



FM OH! 毎週水曜20時～20時30分
スマホやパソコンで聴きたい方はradiko.jpから。もう一度聴きたい方は、
FM OH! のホームページで、番組のPODCASTを配信中。

企画から提供まですべて武庫女の完全オリジナル番組です。パーソナリティーは卒業生の塩田えみさん。
様々なジャンルで活躍する学生・卒業生をゲストに迎えて楽しいトークを展開しています。



武庫女チャンネル **ムコチャン**
2019年1月から放送スタート!



ケーブルテレビ局「ベイコム」にて 毎月1日/16日更新、週5回放送
【月曜22:45~/火曜22:15~/水曜23:30~/土曜15:00~/日曜19:45~(5分番組)】
「ベイコム」のほか、「J:COM」など近畿一円のケーブルテレビ局で順次放送予定

「女子大ってどんなところ？」をコンセプトに、学院創立80周年記念番組を情報メディア学科の学生が
企画・取材・編集。80周年を迎えた武庫女の「今」の魅力を、学びや教育環境、学生活動などを通し
てお伝えします。

武庫川学院創立80周年記念特設サイト リニューアル

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~gakuin80/index.html>

学院では、創立80周年を記念し、今後も様々な記念事業を行っていく予定です。
2月にリニューアルした特設サイトで、随時80周年に関連する情報をお届けしていきます。

「リビエール」は、あなたのご参加をお待ちしています。

「リビエール」は、在学生・卒業生・教職員の皆さんの声を伝える
広報誌です。キャンパス内外の様々な情報や皆さんの近況報告な
どを、お気軽に広報室までお寄せください。各コーナーへの登場
希望、写真の投稿も大歓迎です。ご参加をお待ちしています。

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 武庫川学院 広報室
TEL.0798-45-3533 FAX.0798-45-3552

本学のURL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/>



Facebookページ
<https://www.facebook.com/MWULavy>



広報室 twitter
<https://twitter.com/MWULavy>



広報室 Instagram <Mukogress>
<https://www.instagram.com/mwu.mukogress/>

QRコードの読み取り機能がある携帯またはスマートフォンをお持ちの方は、それぞれのQRコードをご利用ください。